

広報委員会・生活産業部会・第一工業部会共催 「Tuas One Waste-To-Energy Plant 見学会」開催報告

開催日時	2026 年 7 月 7 日（火）14:20～16:30
開催場所	TUASONE WASTE-TO-ENERGY PLANT
対象	全部会

参加人数

35 名

アンケート回答人数

10 名

満足度

100%

大変満足 9 名
満足 1 名

開催概要

この度、広報委員会・生活産業部会・第一工業部会共催で「Tuas One Waste-To-Energy Plant 見学会」を開催し、合計 35 名の方にご参加いただきました。

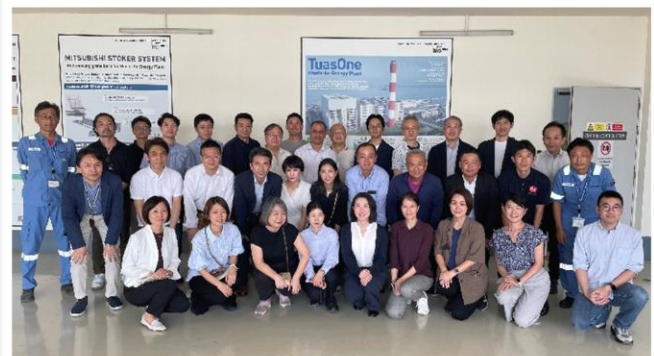
今回訪れた廃棄物発電工場は、シンガポールにある 4 つの廃棄物発電工場のうちの 1 つであり、最大の発電能力を有するとともに、最もエネルギー効率の高い施設です。毎日 3,600 トンの廃棄物を焼却し、120 メガワットの電力を生成しており、シンガポールの国家課題でもある廃棄物の減量とエネルギー効率向上の 2 つの課題の舞台裏を見学いたしました。

前半はプレゼンテーションにおいて、シンガポール全体のごみ処理の現状や、ごみがどのようなプロセスで処理されているのかについて説明を受けました。質疑応答では、多くの質問が寄せられ、シンガポールに居住されている皆さまが日頃から抱えているごみ処理に関する疑問や、日本との違いについての質問が多く見られました。担当者の方には、一つ一つの質問に対して丁寧に回答いただき、理解を深めることができました。後半は、廃棄物の搬入からクレーンによる焼却炉への投入工程までを、施設内を見学しながら視察しました。

プレゼンテーションの様子



集合写真



参加者の声

「シンガポールにおいて大変重要な課題ではあるものの、普段取り上げられる機会の少ない施設を見ることができて、とても勉強になりました。」

「シンガポールのごみ処理、焼却について日々疑問に思っていたが、現地を見ることで理解が深まった。また、日本の様々な高い技術が使われていること、日本との違いなども丁寧に説明いただいたことで理解が深まった。」

「シンガポールにおけるごみ処理施設に興味がありました。AI を使って自動化している部分と、クレーンを人間が動かして調整しているところが面白かったです。」

「普段見ることのできない最新の廃棄物発電施設を見学でき、運営方法や環境への取り組みについて理解を深めることができたためです。説明も分かりやすく、大変有意義な見学会でした。」

「日本企業（三菱重工様）がこの分野で貢献されていることに感銘を受けました。」